

あなたの気づきが解決の第一歩

みんなでなくそう！虐待

身体への暴力、暴言や無視など虐待に苦しんでいる人たちがいます。安心して穏やかに暮らすことはみんなの願い。あなたの気づきと連絡が虐待をなくす第一歩につながります。

子供やパートナーへの虐待

配偶者などパートナーへの暴力であるDVと、子供への虐待は密接に関係しています。例えば、DV加害者の父親が、母親だけでなく子供にも暴力を振るったり、DV被害者の母親がストレスから子供を虐待したりという事例も報告されています。

また、夫婦げんかなどで子供の目の前で配偶者に暴力を振るったり罵倒したりする「面前DV」は、子供に過度の緊張を与え、子供の心を深く傷つけます。次のような状況が続く時は、虐待の可能性があります。

- 児童虐待が疑われる状況
- 叱りつける声や子供の泣き声が頻りに聞こえる
- 不自然なげがや傷が見られる
- 夜遅くまで出歩いている
- 季節に合わない服装でいる

障がいのある人や高齢者への虐待

障がいのある人や高齢者への虐待は、家庭や施設など閉ざされた空間で起こるために、発見が遅れることが多くあります。周囲の人達が普段から注意深く観察し「不自然なあざやけががある」「おびえた表情をよくする」などSOSのサインを見逃さないようにしましょう。

もしかして…と思ったら相談してください

あなたの周りで虐待と思われることがありましたら、すぐに連絡してください。連絡は匿名で行うことができ、連絡者や内容に関する秘密は守られます。

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者やパートナーなど親密な関係にある人から振るわれる暴力のこと。

虐待に関する相談や情報提供はこちらまで

分野	相談先	電話番号
児童虐待	こども家庭課	24・8073
	児童相談所全国共通ダイヤル(※)	189
DV	パープルホットライン	24・8178
障がい者虐待	ふれあい福祉課	24・8182
	耳の不自由な人専用連絡先：shougaisya-gyakutai@docomo.ne.jp	
高齢者虐待	長寿介護課	24・8168
緊急時	小松警察署	22・0110

※近くの児童相談所につながります。一部のIP電話からはつながりません。

問ひかけ
あんしん相談センター
☎24・8070



しみんの声

市民の皆さんから寄せられた疑問やご意見などの一部を紹介します。



皆さんの疑問やご意見をお寄せください

- Eメール「市民の声Q&A」
koho@city.komatsu.lg.jp
- ホームページ「市長にひとこと」
<http://www.city.komatsu.lg.jp/4739.htm>
- 市民の声ポスト
市役所(1階総合案内横)、市民センター、南支所、公会堂 ※郵送でも受け付けます
- 市役所の総合案内ダイヤル
もしもしセンター ☎20・0404

意見1 市役所窓口でマイナンバー(個人番号)の記載を求められました。どのような場合に記載が必要ですか。

回答1 マイナンバー制度は国や県、市などの公共機関で情報を相互にやり取りし、市民の皆さんの手続きをスムーズに行うことなどを目的に、平成28年1月から導入されました。利用については、法律で社会保障、税、災害対策の3分野に限られています。具体的には、児童手当や国民健康保険、確定申告などの手続きで申請書にマイナンバーを記載いただいていますので、ご協力をお願いします。

意見2 公会堂大会議室のステージ背景はかつて石壁でしたが、昭和の終わり頃に板で覆われました。石壁は現存しているのでしょうか。

回答2 板を取り外したところ、石壁は残っており、観音下石が使用されていることが分かりました。昭和34年の公会堂完成当時のものと考えられます。この石壁は日本遺産に認定された「小松の石の文化」を後世に伝える重要なものであり、多くの皆さんにご覧いただければと思います。貴重なご意見をありがとうございました。



問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8016 24・5563

国際交流コーナー International City KOMATSU

～国際交流員キンバリーのこまつ新発見～ 食事から考えるおもてなし



2017年も残りわずかとなりましたが、皆さんはどんな一年でしたか。私は今年も小松市で新しいことをたくさん経験し、充実した一年を過ごせたと感じています。

さて、今回は文化や宗教の違いによる食事について考えてみます。皆さんは「ハラール」という言葉をご存じですか。ハラールとはイスラム法上の戒律で食べることが許されている食材や料理を指します。一方、戒律で許されていない食材は豚肉、貝類、アルコールなどで、それらが食事に入っていないことはもちろん、豚肉のエキス、味噌や醤油に含まれるアルコールなど、目に見えないものでも食べてはいけません。また、豚肉以外の肉も、ハラールの特別な処理方法があり厳しく制限されています。

イスラム教徒は日本に来た時、食事を探るのがとても大変だそうです。揚げ物は豚の油で揚げていることがあるし、スープには醤油が、甘いお菓子には動物性のゼラチンが使われていることがあります。日本語が分からない旅行者の場合、間違えて食べてしまう可能性が高く、旅行のストレスが増えてしまいます。お迎えする側もおいしい食事で心を込めたおもてなしをしようとしても、せっかくなの気持ちも伝わらないこともあるでしょう。

そこで、小松市では海外からの様々な観光客がおいしいものを安心して満喫できるように、市内のハラールメニューを増やす取り組みを行っています。また、イスラム教徒だけでなく外国人の中にはベジタリアンや牛肉が禁止されている人もいます。異なる文化や宗教を知り、世界から訪れる皆さんをもっとやさしいおもてなしでお迎えできるようにしたいですね。



▲ハラールのラーメン。おいしかったです！

問い合わせ 国際都市推進課 ☎24・8039